

伊賀市行政事務事業評価審査委員会
審査事前説明資料

伊賀市デジタル自治推進局

整理番号		「歳出の概要及び実績」の見方について				決算書頁															
連番		(款)〇〇〇(項)〇〇〇(目)〇〇〇〇〇〇〇〇〇(大事業)〇〇〇〇〇〇〇〇				頁数															
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-細目-細々目															
	政策	000	みんなだめざすまちづくりの方向や目的を記載		年度～	年度	直接事業費を支出する予算費目														
	施策	0000	政策を実現するために、みんなで取り組む方策		部・課等	評価責任者・連絡先															
	事務事業名	施策を構成する評価の対象としている事務事業の名称を記載しています		担当部署	〇〇課	課長 〇〇 〇〇 0595-00-0000															
事務事業の概要	対象	この事務事業によって直接働きかける相手やもの																			
	目的	この事務事業を行うことによって、残したい結果や目指そうとする成果																			
	法令根拠等	この事務事業を行う根拠となる法律や条例、計画等を記入してください																			
	内容	令和5年度に実施した事業の実績内容を記載しています。																			
事業に要した主な経費など	<table><tr><td>経費</td><td>金額</td><td colspan="5">摘要</td></tr><tr><td colspan="7">事業によって、「経費、金額、摘要」「工事名、金額、摘要」「研修名、人数、経費」などを記載しています。</td></tr></table>							経費	金額	摘要					事業によって、「経費、金額、摘要」「工事名、金額、摘要」「研修名、人数、経費」などを記載しています。						
	経費	金額	摘要																		
事業によって、「経費、金額、摘要」「工事名、金額、摘要」「研修名、人数、経費」などを記載しています。																					
全体コスト（千円）	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)														
		国県支出金																			
		地方債																			
		その他																			
		一般財源																			
	事業費	合計(A)	0	0	0	0															
		人件費	正規職員	業務量																	
				人件費																	
			再任用職員	業務量																	
				人件費																	
会計年度任用職員		業務量	人	人	人	人															
	人件費																				
小計(B)	0	0	0	0																	
合計(A+B)	0	0	0	0																	
市民1人当たりのコスト(円)	0	0	0	0																	
指標	この事務事業の目的の達成度を数値化して表すための指標です。また、“達成”は																				
	①増加を目指す指標の場合・・・目標達成状況＝令和5年度実績値÷令和5年度目標値 ②減少を目指す指標の場合・・・目標達成状況＝令和5年度目標値÷令和5年度実績値 ③累積値を目標値に設定する場合・・・目標達成状況＝(令和5年度実績値－令和4年度実績値)÷(令和5年度目標値－令和4年度目標値)で算出しています。																				
方向	課題改善案	この事務事業に今後どの程度力を注いでいくのかを示しています。																			
		この事務事業の目的を達成するための課題や改善案を記載しています。事業によっては具体的な改善内容を記入しています。																			

「方向」について

事務事業の令和6年度以降の方向性を示しています。

方 向 性	今後の方向性
充 実	成果を更に上げるため、または社会情勢などから需要の増加等に伴い、より注力するもの
継 続	必要性、有効性、効率性から判断して、改善する余地がない最適な状態のもの
改 善	十分な成果を得られているので、効率性を追求するもの
縮 小	投入される費用に見合った成果を得られていないので、生産性を追及するもの
統 合	目的など類似性の高い他の事業と統合することで効率化を図るもの
廃 止	事業開始当初と社会経済情勢が変化し事務事業の必要性、有効性が薄れ、行政が実施する必要性などが無くなったため、（3年以内に）廃止するもの
完 了	事業計画期間の終年が到来したもの
民間委託	全部または一部を民間に委託することで、サービス水準を維持または向上したまま、費用対効果の向上も図るもの
民間活力 導入	市民の自主的な活動の支援と促進に努める、または、市民の活動を取り入れながら実施することで、より効果的・効率的に実施するもの

※ 繰越予算による事業は「完了」を選択しています。

個別 論 点	①部局対応方針				③行政事務事業評価審査委員会	
	見直しの 視点	指摘事項	対応方針 (成果指標に関する項目は、次期総合計画のもと現在 考えている成果指標の具体例について記載すること)	いつまでに	①の対応方針に対する意見	
	③専門家チームに よるアドバイスの うち、個別の指摘 事項を記載してい ます。		④左記の指摘事項に対して担 当部局の対応策を記載してい ます。		⑥担当部局の対応方針に対する審査 委員会の意見を記載する欄です。	
					⑦主要な議論や意見に直接関連しな いが、関連する追加的な意見を記載 する欄です。	
	②諮問時の視点(事務局)				④審査結果の総括	
⑤諮問時の論点、どの様な視点で審査いただきたいか を事務局の目線で記載しています。				⑧審査結果の概観や結論を記載する 欄です。		